

善頭エッセイ

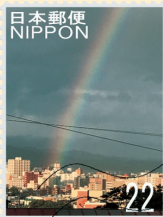
はこだて旅便い

「今日もぷらぷら」

84



「停電で見つけた宝物」



文月 齊 (ふみつき さい)
 埼玉県出身。
 人と街、自然と文化を題材に、
 みちくさばかりの旅を続ける
 エッセイスト。
 函館、埼玉、大阪を拠点に
 旅を満喫中。

前略、変わりはないか？
 先月は自然の力を再認識させられた月だったね。君の暮らす町では台風の被害が甚大で、くり返し流される映像を見ながら、見覚えのある街に住む友人知人が無事か気が気じゃなかったよ。もつとも、翌日にはこちら函館にも台風が北上してきて、風に飛ばされて看板や瓦が家に飛び込んでこないよう、ニュース映像を思い出しながら窓を覆う作業に奮闘していたよ。幸い、大きな被害もなく、台風も予想より西寄りの進路を進んでくれたけど、北海道を過ぎても勢力を保ったまま更に北上を続けるなんて、息の長い珍しい台風だったなあ。

台風が通り過ぎた後には、これまた函館では珍しく、雷がピカッと光ってはドッカン、ドッカンと鳴り響いていた。僕が生まれ育った埼玉では雷は夏の風物詩のようなものだけど、地元の人や旅人はその迫力に驚いていたね。稲光と轟音が同時に駆け抜け、一拍置いてどしゃ降り雨が屋根を叩きつける。僕にとっては子供の頃に見た夏を思い出す懐かしい状況だったけど、そんな暢気な思いもその日の夜中に起きた地震で吹っ飛んでしまった。

「北海道胆振東部地震」。北海道初となる最大震度7を記録した大地震の被害は、君もテレビや新聞などで知っているだろう。夜景で知られる僕の暮らす街も揺れはしたけど、震度で言えばせいぜい3〜4といったところで、棚からビンが一つ落ちたくらいの揺れだった。同じ北海道とはいっても、直線距離にして名古屋〜大阪間以上の距離があるからね。揺れということならむしろ、前日の台風の風の方が、僕の暮らす築100年の家を大きく揺さぶっていたよ。地震で驚いたのは揺れではなく、直後から起きた大規模な停電の方で、まさか北海道全域で停電になっているとは思ひもしなかった。街灯が消えたおかげで三日月が妙にきれいだなあ、なんてこれまた暢気なことを言ってお団子に入りにおしたけど、翌朝になっても停電が北海道の全域で続いていると知った時にはさすがに驚いた。ラジオのニュースで現状を把握するしかなかったけど、テレビで映像を見ていた本州以南の人たちは衝撃的な映像を見て随分と驚いたことだろうね。僕も後になって映像を観たけど、震源の周辺では40名を超す犠牲者が出たそうで、心よりご冥福を祈るばかりだよ。

停電の影響で信号機も路面電車も停まった函館だったけど、地震発生から2日目の夜までには、ほぼ全域で電気も回復。その間、信号の消えた交差点では互いに道を譲り合ったり、いち早く電気の回復した飲食店では炊き出しや携帯電話の充電を開放するなど、落ち込みかけている心に温かい灯を点してくれるようなホッとする場面にもちよくちよく出くわした。電気が使えないという不便さはもちろんあったけど、街に射す七色の大きな虹や、茜色に染まる夕暮れの空、天の川がはつきりと見える星空など、台風や地震とは異なる自然の一面に目を向ける機会にもなった停電だった。

震源の近くではまだ復興の目処も立たない状態のようだけど、北海道全域では普段の生活を取り戻しつつあるようだね。函館も少しずつ旅人の姿が戻ってきていて、昨日も北海道をバイクで回っている最中だという旅人と話したけど、思っていたよりも普通の生活を送っているのが驚いた様子だった。地震発生後1週間で約50万人分の宿泊キャンセルが出たとニュースで流れていたけど、旅人曰く、どこに行っても貸し切り状態でホテルも飲食店も満喫できます、だってさ。なるほど。福島県から移住してきた友人が、東日本大震災の後、福島県では3年以上同じような状態が続いたと話していたけど、どうしても自粛モードに働いちやうのだろうね。そういうことなら僕もバイクの青年を見習って、北海道一周貸し切りの旅に出て、北海道の絶景や絶品グルメをSNSで発信しようかな。

え、絶品グルメなら私も付き合おうって？ そうだね、魚介類や乳製品、新米や新蕎麦など、食材がますます美味しくなる季節だから、食いしん坊の君にはピッタリだね。今度の連休にでも来るといいよ。それじゃあまた。



法人会は会社経営の効率化のためにe-Taxの普及を支援しています。

さらに詳しくはWEBへ

イータックス

検索